

新春を迎えて

——各会派の抱負——

議会運営委員会を構成する会派の新年の抱負を掲載しています。各会派の構成については、最終面をご覧ください。

区政改革を推進します！

新年あけましておめでとうございます。平成28年が皆様にとつて、練馬区にとつて、日本にとつて素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。また日ごろから自民党および練馬区議会自由民主党にお力添えを賜り、心から感謝御礼を申し上げます。

昨年安倍首相は「アベノミクスは第2ステージに移る」と宣言し、経済成長の推進力として新たな3本の矢を発表されました。新たな3本の矢は①希望を生み出す強い経済②夢をつむぐ子育て支援、③安心につながる社会保障の3項目とし、日本社会の構造的課題である少子高齢化の問題に真正面から挑戦したいとの意気込みが示されました。新たな3本の矢が迅速に放たれ、経済再生・財政再建を強く推進し、子育て・社会保障施策の充実が図られることが期待されます。

区政においては昨年の選挙で議席増をさせて頂いた我が会派「練馬区議会自由民主党」が中心となって、国・都の政策と連動・連携をし、72万区民の福祉向上を目指して政策提言、また実行してまいります。

昨年から区政改革推進会議が行われ、区政改革を考える

練馬区議会自由民主党 (18人)

資料として「練馬区の『これから』を考える」区政の改革に向けた資料」が作成されました。人口推計や練馬区特有の課題を踏まえ大きく4つの課題が取り上げられています。まず1つ目は子ども・子育て支援。2つ目は超高齢社会への対応。3つ目は都市基盤の整備と維持。4つ目は区立の建物施設の維持・更新についてです。本年はこの資料をもとに区政改革計画が策定される予定です。我が会派としても持続可能な財政基盤を構築し、改革を支える土台づくりを支持してまいります。本年も区民福祉の向上、区内産業の振興、子育て施策の充実等を図るべく政策提言を行ってまいります。

練馬区は緑に恵まれた住みやすい環境と都心へのアクセスを両立する住宅都市であり、さらなる発展が見込まれる区であります。練馬区の将来を見据え、次世代への責任を果たすべく区政改革を推進し、練馬区の魅力を最大限生かす施策に積極的に取り組みます。練馬区議会自由民主党は引き続き区政の先頭に立って全力で政策の実現に邁進することを約束致します！

一人ひとりが輝く希望の練馬へ

新年の幕開けにあたり、区民の皆さまのご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、平素より、公明党に対するご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

政府は、昨年「1億総活躍国民会議」で①強い経済②夢をつむぐ子育て支援③安心につながる社会保障の「新3本の矢」を実現するための緊急対策を決定し、公明党が長年取り組んできた子育て支援や介護が対策に盛り込まれました。公明党は、1億総活躍社会を「一人ひとりが輝き活躍できる社会」と位置づけ、すべての人が自己実現できる社会をめざしてまいります。

練馬区は、昨年、前川区長のもと「みどりの風吹くまちビジョン」を策定し、区政が直面する重要課題に取り組んでおります。練馬区議会公明党も、課題解決のため、現場

練馬区議会公明党 (12人)

の皆さまの声をお伺いし、保育園の待機児童対策や高齢者の健康施策、また安全安心なまちづくりや防災対策など新たな練馬区の構築のため全力を尽くしてまいります。

昨年11月には、区内の諸団体の皆さまからのご要望をまとめ、「平成28年度練馬区予算編成に対する要望書」として区長に提出し、新年度予算に反映していただきたいと、強く要望いたしました。

練馬区議会公明党は、本年、新たな決意に立ち、都議会、国会と緊密な連携を図りながら、まちづくり、福祉、子育て、教育、医療、環境、経済対策等、区民の皆さまの生活を守るため「住みやすさNo.1の練馬」をめざし、全力で取り組んでまいります。

平和守り、重税やめて希望ある年に

日本共産党練馬区議団 (6人)

日頃からの皆様の大きなご支援に感謝申し上げます。昨年は安倍政権の国民無視の暴走に対し、安全保障関連法をきっかけにこれまでにない国民的な反響が広がりました。私どもは皆様とともに立憲主義・民主主義を取り戻すため、国民連合政府実現に全力を尽くす決意です。

日本共産党練馬区議団は昨年6人に前進して、区民の声を届ける力が強まり、それが他党派とともに安全保障関連法案反対の意見書を提案するなどの力につながりました。練馬区は不急の大型道路と再開発を拡大させる一方、介護の要支援を切り捨て、就学援助を減らすなど暮らしや社会保障を削っており、区政のあり方が厳しく問われま

す。私どもは、憲法を守り「区民が主人公」の立場を貫いて、区議会でも共闘を広げな

未来につなげる練馬区へ向けて

練馬区議会民主党・無所属クラブ (5人)

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、多大なるご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。本年が皆様にとつて、素晴らしい年となることを心より祈念致しております。現在の区政状況は、社会保障に関連した扶助費の増加や今後の施設改修改築費用の増加で財政難が懸念される中、子ども、高齢者生活保護の増加、生産年齢人口の減少等、先行きの不安が払拭できない状況が続いています。我々党派としては、安心して将来につなげる練馬区を目指し、今年も区民協働を軸とした区政運営を提言し、誰もが安心して働いて、暮らせる政策の実現に向けて、党派一丸となり取り組んでまいります。

共に生きるまち、ねりまの実現を

生活者ネットワーク (3人)

昨年は安保関連法が強行採決により成立しました。引き続き多くの区民とともに廃止を求め、非核都市宣言をしている練馬から平和を求めていきます。子どもの貧困をはじめとする福祉的支援は最優先すべき課題です。区がすすめる区政改革は「区民の視点から検討する」と示していますが、計画ありきではなく区民の多様な意見が尊重される区政を求めていきます。今年も練馬区エネルギービジョンも策定され、全面電力自由化も始まります。原発に依存しないエネルギー自立都市の実現に向けて取り組んでいきます。